

平成24年度 青年漁業士養成講座

水産業改良普及センター 鹿熊 信一郎

平成 24 年度は 2 名の青年漁業士が推薦された。漁業士認定に向け、平成 24 年 12 月 5 日に青年漁業士養成講座が水産業改良普及センターで開かれ、2 名の候補者が講座を受講した。

青年漁業士候補者として、伊良部漁協の漢那竜也氏、国頭漁協の玉村和也氏の 2 人が出席した。

まず、大嶋所長から漁業士制度や水産業改良普及事業について説明が行われた。内容は、まず沖縄の漁業・養殖業の歴史や現状についてパワーポイントで説明があった。続いて、沖縄県の漁業士制度について、制度の趣旨、規約、地域別・漁協別名簿などの資料に基づき説明が行われた。最後に、平成 24 年度水産業改良普及事業計画書に基づき、普及センターがどのような活動を実施してきたか、また計画しているかが説明された。

次に、鹿熊からメカジキ漁業に関してパワーポイントで説明した。沖縄周辺海域におけるメカジキ漁場の状況、リング漁法導入の状況、小笠原におけるメカジキ漁業の様子に続き、課題となっている流通について説明した。特に、今後、漁獲量が増大した場合の船舶による輸送の課題に関して説明した。

最後に、安谷屋秀喜指導漁業士（糸満漁協）から漁船漁業についての講義が行われた。安谷屋指導漁業士は、予定していた講師の病気のため急遽の依頼にもかかわらず、講義を引き受けていただいた。全般的な漁船漁業に関する注意事項に引き続き、水温や流れ等、人工衛星を利用した漁場の海況情報を入手する方法を、実技を交えて指導してもらった。

講義の後、水海研の研究者を含め、候補者との意見交換も実施された。漢那氏、玉村氏の順に候補者から現状（今やっていること）の説明があり、その後、2 名と、普及員、安

谷屋指導漁業士、水海研の研究者の間で熱心な意見交換が行われた。



青年漁業士養成講座の様子



第 18 回青壮年・女性漁業者交流大会における漁業士認定証授与

（右から玉村和也氏、漢那竜也氏、伊良波進名誉指導漁業士、玉城貢統括監）